

# 『吃音 グループ学習』

※学年の近い児童同士の小集団グループで行います

**当教室の吃音グループ学習**  
 やり方:各学期末 グループごとで 実施  
 保護者は待合室で 懇談会  
 学習時間:50分間(前半:吃音学習/後半:遊び)

例 <中学年グループ> やりとりの一部をご紹介します  
 R5年度 2 学期の実践

## テーマ「友達に ことばのことを 聞かれたら なんて答える？」

テーマについて みんなで考えました。

<p><b>質問</b></p> <p>友達に ことばのことを されたことは ありますか？</p> <p>ある      ない</p>	<p><b>質問</b> 友達に ことばのことを されたとき どうした(どうする)？</p> <p>①しらない ふりをした(むし) <input type="checkbox"/></p> <p>②自分で せつめいした <input type="checkbox"/></p> <p>③先生に せつめいしてもらった <input type="checkbox"/></p> <p>④けんかを した <input type="checkbox"/></p>	<p><b>質問</b> いちばん よいのは どれかな？</p> <p>①しらない ふりをした(むし) <input type="checkbox"/></p> <p>②自分で せつめいした <input type="checkbox"/></p> <p>③先生に せつめいしてもらった <input type="checkbox"/></p> <p>④けんかを した <input type="checkbox"/></p>	<p>きょうは ②について 考えましょう</p> <p>②自分で せつめいした</p>
---	---	---	---

**質問**

友達に ことばのことを されたら なんて せつめいしたら いい？

セリフを 考えましょう

<p>「きつ音」と言って、話し方のくせみたいなんだけど、言葉が 出なくなることや「おおお」のように くり返したりすることがあるんだよ。</p> <p>どうしてかわからないけど、小さいころからこうなんだ。くせのようなものなんだ。</p> <p>ちょっと聞きにくいときもあるかもしれないけど、最後まで聞いてくれるかな。</p> <p>さんちようしてなくても あせていなくても こうなるんだよ。</p>	<p>言葉が出にくくなる時があるけど、気にしないで聞いてくれる？</p> <p>わざとではなく 言葉が出ないんだ。</p> <p>これが ぼくの 話し方なんだ。</p> <p>話すことはわかっていても 言葉が言にくいときがあるんだよ。でも、病気じゃないから、気にしないでくれる？</p> <p>言いたいことを先に言わないでくれる？</p> <p><b>れい</b></p>	<p>考えてみましょう</p>	<p>友達のセリフを ききましょう</p>
<p>研究はされているらしいけど、原因がわからないんだって。</p>		<p><b>質問</b> 話し方は これから ずっと 同じなの？</p> <p>①同じ ②かわっていく ③わからない</p>	<p>このように かわっていく人が 多いようです。大人になった 吃音のある人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものときより かるくなった</li> <li>・どもるときの 気持ちが楽になった</li> <li>・ことばが 出るまでの時間が 短くなった</li> </ul>

複数の例文を組み合わせたり、自分の言葉を足したりして、自分ならどう言いたいかを考えました。その後、発表して友達のセリフを聞き合いました。

**ふりかえり**

友達の話を聞きましたか？

自分の考えを話せましたか？

答えるときの セリフを書きましたか？





「吃音」ということばが出ないことがあって、研究はされているんだけどなんでなるかわかんないことがあるから、気にしないで。これがぼくの話仕方なんだ。

友達にことばのことをきかれましたらなんてせつめいしたらいい？



研究はされているけど、原因はわからないんだって。インターネットで調べてみなよ。

緊張してなくてもあせていなくてもこうなるからくせのような話し方なんだ。話すことはわかっているけど、ことばが出にくいときがあるんだ。だから、出にくくなっていても気にしないでくれる？



わかっているけど、ことばが言いにくいときがあるんだよ。でも、病気じゃないから、気にしないで。



研究はされているらしいけど、原因がわからないんだって。



吃音のある子どもたちは、もしことばのことを友達に聞かれたら、『自分で説明しよう』と思っているようでした。グループ数名でいっしょに学習することで、友達の考えを知ったり、同じ困難さを共有したりできたようです。

<その他の活動>

きつ音グループ学習 活動①:きつ音学習(自分の気持ち・吃音すごろく)



きつ音グループ学習 活動②:みんなで遊び(ドッジボール・ウノ・ボウリング・だるまさんが転んだ)

